

別紙 ペガサス（当事者部会）個別協議内容の報告

令和8年2月19日開催の令和7年度第3回狛江市地域自立支援協

議会において、近隣市で発生した知的障がいのある人が行方不明になり、数日後、保護された事例について、狛江市でも起きうる地域課題の一つとして報告された。

ペガサス役員会では、行方不明につながる迷子状態の経験、

対処方法等を話し合ったので、報告します。

令和8年6月23日（火）

役員会

【議題】 行方不明になるような体験があるか？そのときどうした？予防策はあるか？

【参加者】 全体：6名（内訳：知的3名・精神1名、支援者2名）

【場所】 あいとぴあセンター

【時間】 16時～17時

【内容】

- ・A役員： 高校生の時、行き先が分からなくなったことがあった。実習で府中に行った時だった。帰り道が分からなくなった。住所、分からない。とても困った、3時間くらい…。
小学生が歩いていたので、「駅 どこ？」と聞いた。駅の場所を教えてくれた。
教えてくれたので、帰れた。小学5～6年生だった。

迷子のときは、パニックになった。頭、真っ白。空っぽ。

インターネット、GPSが必要。

- ・B役員： 自分が道に迷った経験は、2回ある。自分のことではないが、利用者が作業所に

- ・B役員 : 居ない、来ないことは起こる。職員が探しに行ったり、見かけた人が連絡をくれたりしている。
- 自分の体験の1回目は、高校生の時のこと。自分はバス通学をしていたが、その日は、部活動の帰りに友人を送るため、別のルートを通った。道が分からなくなった。
- 携帯電話を使って家族に連絡した。いる場所が分からないので、大変だった。
- 2回目は少し前にあった。作業所で、友人が気になり、その人の帰宅ルートの方向で帰った。「ちょっと通ってみようかなー」という気持ちだった。多摩川まで行った。
- 道に迷うことはある。探すアプリがあると良い。

- ・C役員 : 迷子事件があった。小学生の時。待ち合わせの場所に、母がいなかった。
- 母は、道に迷っていた。私も迷子になった。
- 先生たちが探してくれて、保護された。GPSがいる。

- ・D役員 : 行方不明になったことはない。道に迷わないように、初めて行く場所は大きい範囲・中くらいの範囲・詳細の範囲の地図を用意する。
- 予防策として、交番に聞く、不動産店に聞く工夫をしている。
- 紙媒体が良い。